

加西市の高齢者福祉について

一般質問



衣笠 利則 議員
(21 政会)

問 加西市の高齢者の現状、生活実態について、介護保険の現状と今後の高齢者福祉のあり方について。

答 現在の加西市における 65 歳以上の高齢者数は 1 万 3,556 人（高齢化率 29.8%）、75 歳以上の高齢者数が 6,803 人（後期高齢化率 14.9%）となっており、5 年後には後期高齢者が 7,200 人（17%）程度となり、国・県よりも高い数値となります。

アンケート調査によると、76%の方が月 1 回以上通院し、送迎を必要とされる方が 14%おられます。また、食事も用意ができないと回答された方が 10.5%もおられ、その他、買い物等の生活支援が必要とされている方が 2.9%以上おられます。

介護保険の現状については、第 5 期計画期間における給付費を見ますと、平成 24 年度の給付費全体で 36 億 3,000 万円、平成 26 年度に約 39 億 8,000 万円と、3 年間で 3 億 5,000 万円程度増加しています。

問 今後の加西市の高齢者福祉について、どのように考えておられるのか。

答 高齢者を取り巻く現状を踏まえ、いつまでも住み慣れた地域で自分らしい暮らしが続けられるように、医療・介護・予防・住まい・生活支援を包括的に確保し、地域包括ケアシステムの実現と介護保険制度の適正な運営に努めたいと考えています。

高齢者の生活環境については、現在、有料で粗大ごみの収集や、高齢者・障がい者の方についてごみのサポート収集を行っています。また、地域で集めてもらったごみの拠点回収も実施しているところです。

要望 これからの高齢化社会を元気にするためには、地域が主体となり、組織的に高齢者の自主的な活動に対してしっかりと支援をしていただきたい。

加西市地域創生戦略の基本方針について、ほか

一般質問



植田 通孝 議員
(自民の風・誠真会)

問 2060 年の人口を、国は 1 億人、兵庫県は 450 万人と 20%前後の減少にとどめる目標なのに、加西市は 10%増の 5 万人と設定できる科学的根拠は。

答 国や県と同様に、6 つの基本目標を達成すれば可能な目標値である。各基本目標の具体的な数値は今後十分検討する。

加西のものづくりについて

問 以前のように、家内工業で成り立つ企業環境の整備や加西の産業力を、より強固なものにしていく、ものづくり再活性化構想はあるか。

答 地方創生に向け、99%を占める中小企業の意欲的で創造的な発展が不可欠。地域の稼ぐ力を見きわめ、地域経済の分析、課題、企業ニーズを把握し、基本計画の策定と商工業振興条例の制定を検討する。

一日一万歩 健幸都市日本一について

問 歩いて暮らせるまちづくり構想の進捗状況は。

答 4 月以降、関係部局による推進委員会を重ね、7 月の機構改革でふるさと創造部に歩くまちづくり担当を配置、本年度中に歩くまちづくり推進計画の策定を目指し作業を進める。

市庁舎外壁工事について

問 トレンディでおしゃれなタイル張りの市庁舎は、市の発展のシンボルとして、市民が誇

りに思え、県下でも群を抜く唯一の高層建築物であった。加西市の誇れるものをまた一つなくし、残念で仕方がない。補修工法の採択の経緯は。

答 タイルの落下による打診調査の結果、全面の 2 割に支障を確認。経費的にも一番安価で安全で工期の短縮が可能なモルタル工法を採用した。

都市計画税で道路用地の買収について

問 市街地の住民が納めている都市計画税で、住民の安全と安心を担保する狭隘道路拡幅の用地買収は可能か。

答 現在、国の補助事業を活用して狭隘道路の拡幅を行っており、都市計画税の充当は不可。都市計画法に基づき都市計画決定した街路であれば可能。